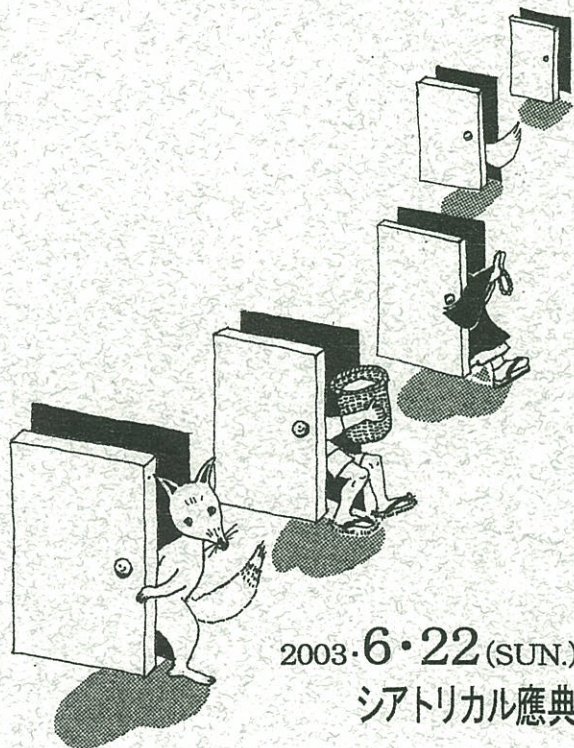


# 新美南吉 童話の世界

・ごんぎつね  
・百姓の足、坊さんの足



2003・6・22 (SUN.) 14:00  
シアトリカル應典院

## 出演者

### ごんぎつね

ごんぎつね	辻本	由美
兵十	垣内	浩子
加助	田中	章恵
語り	秋山	多佳
	内川	玲子



### 百姓の足、坊さんの足

菊次	秋山	多佳
和尚さん	田中	章恵
母親	垣内	浩子
嫁	辻本	由美



## あらすじ

### ・ごんぎつね

貧しい兵十が、病気の母親のためにとったうなぎをちょっとしたいたずら心から盗んでしまった小ぎつねのごん。母親をなくしてひとりぼっちになった兵十のために、こっそり栗や松茸を届けますが、その気持ちは伝わらず、思いがけない結末をむかえてしまいます。

### ・百姓の足、坊さんの足

貧しい百姓の菊次さんは、雲華寺の和尚さんが米初穂を集めてまわるのにお供をしていきました。その帰り道、お酒に酔った勢いで、こぼしたお米を和尚さんと足で蹴散らしてしまいます。年取ったお母さんが叱りつけるのにも構わず平然としていた菊次さんですが、突然の足の痛みで驚きあわてます。和尚さんには何の変わりもないことに腹を立てる菊次さんは天を恨めしく思うのですが……

## 新美南吉 (にいみ なんきち)

1913年愛知県に生まれる。東京外国語学校英語部文科卒業。中学時代より文学に興味を持ち、童謡・童話・小説・詩などを書き続ける。外語を卒業後も小学校の代用教員を勤めながら活発な創作活動を行った。1943年没。その作品は民芸的な美しさと親しみ深さを感じさせ、今も多くの人に愛されている。主な作品に「手ぶくろを買いに」「花の木村と盗人たち」「おじいさんのランプ」などがある。

## 朗読GEN、第1回公演によせて

2003年4月、私たちは5名という少人数で活動を開始しました。GENは漢字でいえば「元」、つまり物事の始め・根本の意味です。初心を忘れず、朗読劇の可能性を追求していきたいというメンバーの思いが込められています。

そして、常に元気いっぱい活動し、聞いて下さる方にも元気を持って帰って頂ける舞台にしていきたいと思っています。新美南吉を選びましたのは、殺伐とした先行き不透明な時代を生きる私たちが忘れかけている、神仏への祈りを忘れぬ敬虔な心に触れて頂き、懐かしい人々の心の有り様や、詩情溢れる言葉のリズムをしみじみと味わい、楽しんで頂ければと思ったからです。皆様はどのように感じて下さるでしょうか。ぜひ、ご批評を賜りますようお願い致します。今後とも皆様におもしろいと思って頂ける舞台をめざしたいと思ひます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 構成・演出

柿川 明子

## 照明

前川 智香

## 音響オペレーター

大市 明子

## 協力

清水 光恵

堂本 悦子・松本 史世

福岡 美智代・木内 静

桂 瑞子

## イラスト